

「10の奇妙な話」

ミック・ジャクソン／著
(東京創元社)

どこか壊れているような人々が、ある日、日常と非日常の境界線を越えてしまう。戻ってくる者もいれば、そのまま帰ってこない者もいる…。ゾットしたり、どこか物悲しかったり、クスツと笑えたり、そんな奇妙な人々を描いた、ダークでふしぎな短編集。ヒンヤリと静かな別世界を楽しんでください。不気味ながら可愛らしいイラストもピタリとはまっています。



「妖怪」

湯本豪一／著
(パイインターナショナル)

怖くておどろおどろしいイメージのものけ達。でも、この本で紹介されている妖怪絵の中の彼らは笑っちゃうほどへんだったり、むしろ可愛らしさすら感じられたり。そんな日本初の妖怪専門ミュージアム、湯本豪一記念日本妖怪博物館〈三次ものけミュージアム〉のコレクションの数々を、迫力満点の構成で紹介する、これぞまさしくクールジャパンな一冊です。



～色んな「クール」に触れよう！～



高井戸 YA 新聞 2022 年夏号 (41 号)

「おうちで作るアイスクーキ」

岡本ゆかこ／著
(河出書房新社)

暑いこの時期にたべたくなるのはやっぱり冷たいデザート！ レシピのアイスやスポンジは一から作ってもいいし、市販品を取り入れて手軽に作ってもよし。あなたの好みはどんな味？ 冷たくておいしいアイスクーキを召し上がれ♪



「冷たい校舎の時は止まる」上下

辻村深月／著
(講談社)

冷たい雪の降る校舎に閉じ込められた8人の高校生。一体誰が、何のために…？ 全員無事に、校舎から出られるのか？ 謎が謎を呼ぶ展開で、上下巻の長編であるにもかかわらず、スピーディーに読めてしまう青春ミステリー×ホラー作品。背筋がぞくぞくする、冷やかな世界観を味わえます。



「クマムシ調査隊、南極に行く！」

鈴木忠／著
(岩波書店)

肉眼では見えないほど小さいのに、30年以上の冷凍状態から生き返ったこともあるという超 cool な生物クマムシ。そんな最強生物クマムシは、草も生えない極寒の地南極でもしっかり生きています。大学でクマムシを研究する生物学者である著者が、南極観測隊での地道な観測と採集の日々を綴っています。

